

施策4 地域の歴史・文化資源の継承

基本事業 1 文化財の保存と活用

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R2実績	R3実績	R7目標	
4-1 文化財の保存と活用	指定文化財 市民	適切に保存・継承される。 地域の歴史を知り、郷土への愛着を育む。	①国、県、市の指定文化財の 件数	①件	① 87	① 87	① 87	B 国・県・市による指定文化財は、各所有者のもと適正な 保存、管理が行われている。 埋蔵文化財については、感染防止のため規模を縮小 しつつ、周年行事を活用して市民への周知を図ってい る。 博物館では、東日本大震災10周年やジオパーク関 連、スネカの展示など時宜を得た企画、展示を行ってい るが、入館者数は回復に至っておらず、市民の利用促 進を図る必要がある。
			②博物館資料登録件数	②件	② 6,373	② 6,385	② 6,400	
			③博物館入館者数	③人	③ 2,483	③ 4,635	③ 8,400	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	R2実績	R3実績	R7目標		
4-1-1 埋蔵文化財調査事 業	埋蔵文化財	・埋蔵文化財を記録保存 する。 ・調査報告書を作成・配 布し、調査結果の活用を 図る。	開発行為に係る埋蔵文化財の保 護指導・試掘・確認調査、長谷堂 貝塚群における個人住宅建設に 伴う発掘調査、出土資料の整理 作業	①発掘調査による出土遺物 量	①箱	① 10	① 125	① 30	A 開発行為に伴い、発掘調査 の可能性の有無など、事前情 報の把握に努めながら、適切 に事業を実施し、埋蔵文化財 の保存が図られている。	○ 未整理となっている出 土品の整理と調査報告 書の作成に向けて、計画 的に事務を進める。
				②発掘調査報告書を刊行し た遺跡数	②遺跡	② 1	② 0	② 1		
4-1-2 文化財普及活用事 業	指定文化財、市民	より多くの人が関心を持 つ。	文化財解説パンフレットの作製及 び配布、遺跡見学会(文化財めぐ り)、考古資料台帳作成、博物館 事業(考古資料展示、体験学習 会)への協力等 ※ 大洞貝塚国史跡指定20周年 関連事業(市民講座、特別展示 等)	①各種イベント参加者数	①人	① 5	① 29	① 20	A 国指定記念事業として、1 年を通して多彩なイベントを 実施し、埋蔵文化財の文化 的価値の周知を図っている。 イベント参加者の満足度は 高いが、年齢層に偏りがみら れる。	○ より多くの幅広い世代 に対し、文化財への理解 を深めるため、魅力ある 企画や効果的な情報発 信に努める。
				②各種イベント参加者の満足 度	②%	② -	② 100	② 100		
4-1-3 博物館展示事業	市民、碁石海岸を訪 れる観光客	気仙地区の自然と文化 について学ぶ。	常設展示の公開、館内説明の実 施、展示資料及び展示設備の維 持管理、常設展示資料の追加・更 新・特別陳列の実施、図録の刊行 等 ※ 「津波災害からの復興」「大洞 貝塚国史跡指定20周年記念」特 別展、三陸ジオパーク関連の特 別陳列	博物館入館者数	人	2,483	4,635	8,400	B 工夫を凝らした企画や展示 に努めている。 観光客数の減少が入館者 数に反映しており、市民の利 用を促進する必要がある。	○ 企画展等では来館者 が増加していることから、 利用者ニーズの把握に 努めながら、資料の収集 保管、研究を進め、より 質が高く、魅力ある企画 展や特別陳列を実施す る。

基本事業 2 伝統文化の継承

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R2実績	R3実績	R7目標	
4-2 伝統文化の継承	伝統文化継承団体	後継者を育成し、伝統文化を継承する。	①大船渡市郷土芸能協会加盟団体数 ②「郷土芸能や地域の祭などが継承されている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①団体 ②%	① 28 ② 53.7	① 28 ② 52.5	① 30 ② 50.0	B 市民意識調査において、「郷土芸能や地域の祭などが継承されている」と答えた割合は過半数あり、市民にとって郷土芸能等が身近であることがうかがえる。 しかし、少子高齢化や長引くコロナ禍により、民俗芸能の継承が危惧されている。今後、活動団体の支援のあり方の検討とともに、三陸国際芸術祭推進委員会等の関係団体と連携してその魅力を広く市内外に発信しながら、後継者育成を図る必要がある。

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	R2実績	R3実績	R7目標		
4-2-1 文化財保護管理事業	指定文化財、指定文化財所有者、市内民俗芸能団体	文化財が現状維持される	文化財公有地等の刈払い、国特別天然記念物ニホンカモシカの保護及び滅失処理、文化財の現状変更等各種届出の対応、文化財パトロール、民俗芸能の育成支援 ※長谷寺収蔵施設改修補助金交付、老杉の周辺環境整備	①滅失せず現状が維持された指定文化財数 ②郷土芸能協会加盟団体出演回数	①件 ②回	① 87 ② 16	① 87 ② 18	① 87 ② 50	B 有形の文化財の保護・管理は概ね適切に行われている。民俗芸能は、コロナ禍により長期にわたり団体活動や発表の場の減少が続いている。	● 民俗芸能活動の促進と後継者育成に向け、関係団体と情報を共有し、具体的方策を検討する。長期的視野に立った市文化財保存活用地域計画を策定する。

施策4 総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R2実績	R3実績	R7目標	
4 地域の歴史・文化資源の継承	市民	郷土の伝統や文化を知り、郷土に誇りと愛着を持つ。	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	73.1	72.6	80.0	B 市民意識調査で「伝統文化や文化財を大切にしたい」と回答した割合は、7割にとどまり、目標値に達していない。 引き続き、市民への啓発に努めながら、コロナ禍により大きな影響を受けている民俗芸能の活動促進や、蓄積する埋蔵文化財出土資料の整理など、文化財の適切な保存を図る必要がある。 また、地域資源である文化財を将来に確実に継承するため、市文化財保存活用地域計画を作成し、市民、地域と一体となり、文化財の総合的な保存、活用に取り組む必要がある。
施策の方向性(重点項目、課題等)								
- 文化財保存活用地域計画の策定 - 文化財を活用した市の魅力発信や交流人口拡大のための取組の拡充 - 博物館資料等に係る収蔵施設の確保 - 民俗芸能の後継者育成と活動支援								